

## 二子山山行報告

【山行日】 2023年 4月 9(日) 晴れ

【集 合】 岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】 マイカー2台 : 1,600円

【メンバー】 CL:鈴木ユ、SL廣瀬、

飯野、石澤、小林、嶋田、鈴木ミ、津佐、  
福島、藤原ト、藤原フ

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=坂本登山口

P7:05/7:25~股峠8:25/8:35~東岳9:10/9:20~

股峠 9:50 ~ 西岳 10:20/10:30 ~ 昼食

11:50/12:20~坂本登山口 P12:55/13:10=

道の駅「はなぞの」14:00/14:20=岩舟支所 P15:50

スリルと高度感あふれる岩稜歩きの二子山に登りたいとリクエストがあり、夏山の剣岳や五竜・鹿島槍岳縦走のトレーニングになると思い計画した。多数の参加申し込みがあり、11名が2台の車に



分乗し岩舟支所を出発する。国道50号線から大泉町経由で熊谷市を抜け、国道140号線から299号線を通り坂本登山口に着く。トイレの側の路肩に駐車し、トイレを済ませてストレッチを行い出発する。仁平沢沿いにスギ林の道を進み沢を渡って沢の中を登るが、登山道が不明瞭で赤マークを確認しながら進む。しばらく登ると沢から離れ、尾根の急坂を九十九折れに登るようになる。急坂を詰めて行くとローソク岩から岩尾道峠への道を左に分け、直進す

ると間もなく股峠へ出る。小休止して水分を補給し、右に向かって東岳を目指す。右にトラバース気

味に踏み跡を進むと行き止まりで、オットット間違いですぐ戻り、右上に向かう登山道を登って行く。すぐに岩場のトラバースがあり、左側が切れ落ちた断崖絶壁で東岳へのルート最大の難所である。しっかりしたクサリとステンレスのステップが付けられており、慎重に登れば問題なく通過できる。ここからも急な岩場や岩稜が連続し、スリルと高度感を楽しみながら登れる。急な岩場をよじ登ると中間テラスに出て、後ろを振り返ると西岳が鋭く聳えている。



中間テラスから稜線をほんの少し登ると西岳山頂に着き、休憩して山頂からの展望を楽しむ。



ゼリーや菓子をいただき、西岳や両神山の展望を楽しんだら下山する。下山は往路を戻り股峠まで下る。股峠から直進しスギ林の道を登ると分岐になり、右に登ると一般コースで直進すると上級者コースに分かれる。上級者コースには「滑落事故多発。初心者は立ち入らないように」と看板がいくつか立っていた。上級者コースへの道は踏み跡がいくつかあり、不明瞭で分かりにくい。後ろの方から「上級者コースは事故が多いので立ち入らないように」となっているの、登らない方がいいんじゃない」と不安そうな声が聞こえた。今日はここを登るために来たので、頑張っ

て登りましょうと声を掛け岩壁を登り始める。急な岩場だがホールドとスタンスはしっかり付いており、三点支持で慎重に登れば問題なく登れる。初心者のI野さんも古賀志山でトレーニングして臨み、問題なく我輩の後を登ってきて楽しいと言っていた。スリルと高度感を楽しみながら登攀し、西岳への稜線に登り着いた。展望を楽しみながら後続の皆さんを待ち、小休止したら西岳へ向かう。展望抜群の岩稜歩きは爽快で、岩を上り下りしながらスリルを楽しめる。三角点が置かれた西岳山頂に着き、記念写真を撮って展望を楽しむ。山頂は狭く南側はスパッと切れ落ちているので、行動は慎重にするよう注意を促す。小休止したら長居は無用、そのまま岩稜を北西に向かい下山開始する。ここからの稜線歩きは素晴らしく、ゴジラの背中のような岩尾根はまさに天空のスカイラインである。岩稜を右に左に上り下りを繰り返して進み、岩稜の西端にあるクサリ場を下れば魚尾道峠の登山道に出る。大きな岩壁の下で休憩し、全員が降り



るのを待つ。全員無事に降りて来て、杉林の中を魚尾道峠に向かって急坂を下って行く。魚尾道峠に下ると、今登って来た二子山が素晴らしい。ここで昼食の予定だったが風が強く、そのまま下って風が無い場所を探し昼食をいただく。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただいた。タケノコの煮物やサラダ、チクワやシューマイなどが出され、豪華なランチをいただいた。ここからは危険箇所も無く緩やかに下り、皆さんも安心して会話が弾んでいた。しばらく下ると国道299号線に出て、道路を左に進むと登山口駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、帰路につく。途中、道の駅「はなぞの」に寄り、トイレと買い物を済ませ予定より早く岩舟支所に帰着した。

路を左に進むと登山口駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、帰路につく。途中、道の駅「はなぞの」に寄り、トイレと買い物を済ませ予定より早く岩舟支所に帰着した。